

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録（2024年7月18日開催分）

開催年月日： 2024年7月18日(木) 11:00～13:30

開催場所： 株式会社 WOWOW プラス内 Space17C 会議室

委員の出席： 番組審議員 7名

WOWOW プラス 7名

出席者

[審議員] 青木眞弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、

村上典吏子、湯淺正敏（以上 50 音順、敬称略）

株式会社 WOWOW プラス

宮澤辰之、森田健介、松田健吾、青木昭、高木慶、

山下泰司（記録撮影）、高野佳彦（書記）

議題： (1) 2024年4月～6月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘
・意見について
(2) 「WOWOW プラス」の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2024年4月～6月の「WOWOW プラス」に対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(株)WOWOW プラス メディア戦略局長より代表的な内容等の概要説明を行った。

審議事項： [審議番組]

『刑事モース～オックスフォード事件簿～[吹替版]』放送・配信連動企画

<審議意図>

これまで字幕版でのみ放送してきた英国の人気ドラマ『刑事モース～オックスフォード事件簿～』について、日本語吹替版の放送を望む視聴者リクエストに応え、チャンネル初となる[日本語吹替版]を放送。

さらに当社が運営する AmazonPrimeVideo チャンネル「シネフィル WOWOW プラス」において先んじて吹替版を配信し、公式 YouTube チャンネルで特別プロモーション動画を公開。放送・配信による多角的な展開により視聴者がメディアを選択できる環境を提供した。これらの取り組みに関連して、

- ・番組（吹替版）への評価と、それが WOWOW プラス視聴者にとって価値ある番組と考えられるか
- ・配信を含めた多角的な展開により、視聴者がメディアを選択できるようにした取り組みについて
- ・OA 番宣動画、YouTube 用プロモーション動画は本番組の訴求につながっているか

審議内容： ■審議員意見

- ・番組を見て原作に关心を持ち、原作を取り寄せたがあまり好みではなかった。
原作は評価しないが番組としては面白かった。放送で見て、また作品をみたい
な、というときにオンデマンドでいつでも見られる環境はあるべき姿。

- ・イギリスの本格的な推理ドラマで、吹替版がよく合っていた。年代的に海外ドラマや映画にはオリジナル字幕版を見たいという気持ちがあるが、現状吹替版は人気があり、視聴者の興味を引くために重要。ただし、オリジナル字幕版も併せて用意してもらってこそその専門 Ch だと思う。
- ・字幕を追うのを面倒だと感じている若年層や高齢者層からすると、吹替版は視聴しやすく、視聴者からのリクエストに応えた甲斐は大きい。
ドラマ出演者は国内では殆ど無名の俳優陣だったが、声優には耳馴染みのある声優が起用されていて一定の質が担保されている印象を持てた。
番宣動画は「あの人気シリーズが」的に煽るのがわかりやすいのでは。
メディアミックス施策は時流に沿っているので、積極的に進めるべき。
- ・吹替版の制作については音声連加盟社のクオリティはしっかりとしているし、質を担保して何度も使えるようにという戦略は有用。
視聴環境に関する多角的展開の意味はあるので、進めていけばよい。
番宣動画については、放送前提のものと YOUTUBE 用では明らかに違いがあり、後者の方が切り取りも含めて見やすかった。展開もしやすいのではないか。
- ・宣伝動画については、知らない人に「見たいな」と思わせる動機付けが大事で、食いつきが良いところを切り取って見せ、「人気がある」と思わせるアクセントの付け方に工夫をしていくべきだと思う。
- ・吹替はやっていかないとダメ。字幕上映限定の映画の宣伝でも吹替が作られるほど。最近の配信広告では、冒頭 10 秒以内のキャッチャーな部分が重要で、ナレーションなしの文字表現と構成が必要。ただし、WOWOW プラスのカラーとして番組を大切にしてほしい。配信に過度に依存しすぎず、既存の顧客を逃さないような配慮もしつつ配信への取り組みを考えてほしい。
- ・吹替ニーズの高まりは当然で、若者は字幕を読まない。
ディストリビューターとしてメディアを選択できるようにしていくのは当然。
世の中のトレンドを見ていく必要はあるが、質を壊さない。これは前提。
コンテンツをおろそかにせず作品をきちんと放送し、ここにすればノーカットできちんと見られる、という価値を残していくべき。

連絡事項： 次回番組審議会は、2024 年 10 月 17 日(木)午後 5 時(予定)より開催。

以上